

ともに生きる



02 年頭のごあいさつ 03 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入賞者紹介 04 中部地域包括支援センターだより

05 ふくしの広場

06 令和4年度 幸田町社会福祉協議会会員入会報告 07 トピックス

08 災害ボランティア講座、ご寄付紹介

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、掲載されている催し物などが延期・中止となる場合があります。催し物などに参加をする場合はマスクを着用してください。

令和4年度 認知症普及啓発事業映画上映会

認知症の母と目の遠い父と離れて暮らす私 —

ぼけますから、

ドキュメンタリー映画

よろしくお願ひします。



広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

カメラを向け、初めて気がいた。両親がお互いを思い合っていること。

**母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。**

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けて人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の

記録を撮り始める。だが、ファインダーを通して、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め —



ひとり娘
ドキュメンタリー監督
信友 直子
1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリーパン組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。

とき

2月4日(土) 午後1時30分～4時

ところ

幸田町民会館 さくらホール

対象

町内在住または在勤者 定員 300人 *先着順

参加費

無料

申込み

1月10日(火)より、幸田町中部地域包括支援センター窓口にて整理券を配布します。
*1人につき2枚まで

問合せ

幸田町中部地域包括支援センター 電話62-7331



幸田町社会福祉協議会

会長 神尾 義貴

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、「健勝にて新年をお迎えのこと」と心からお臺びを申し上げます。

昨年も町内の各企業・町民の皆さま方から、会費および赤い羽根共同募金の協力金をいただきました。おかげをもちまして、町内の小中学校が実施する福祉行事や各福祉団体への支援を実施することができました。皆さまの温かい支援、「協力」心からの感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の再流行、円安、諸物価の高騰、社会保障の負担増など、私たちが生活していく上で不安になる出来事がありました。

そんな中、昨年11月の初めに「つた支え合いのまち勉強会」を開催いたしました。大勢の方のご参加をいただきました。講師の先生からは「これからは、今までのよう行政が行つてきた社会保障の実施に加え、地域住民がお互い協力しながら地域でできる」とを増やす活動との両輪が大事です」と言われました。

私の周りでも、自分の得意なことを發揮して人助けをしている人がいます。煙の土手の草が刈れない高齢女性のために草刈をやつている男性たちです。「この煙で採れた野菜は時々もううけどね。ボランティアに決まっているじゃん。最近、腹が出てきたので腹をひとつしめるのにちょうどいいだよ。」と答えてくれ、心がとても温かくなりました。

「つた地域住民の動きは皆さまの周りにもきっとあるのではないかと思います。「お互いさま」の意識が地域に大きく広がつてほしい」とが、第2期幸田町地域福祉活動計画の目標としているのです。社会福祉協議会では、今後も「お互いさま」の意識で助け合う地域づくりを支援してまいりたいと思います。結びに、本年も皆さまにおかれましては幸多い年でありますように心からお祈り申し上げまして新年の「あいさつ」をさせていただきます。



幸田町長 成瀬 敦

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を「家族お揃いで健やかにお迎えの」とお喜び申し上げます。また、昨年中は、町福祉行政および社会福祉協議会の事業の推進に、「協力」協力を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。

さて、昨年は、社会福祉大会など中止する判断をする一方で、一部の事業は再開しています。今後もワクチン接種を始めとした、新型コロナウィルス感染拡大防止策を継続する中で、事業の実施については慎重に判断していくます。社会福祉協議会との共催事業につきましても継承すべく、新たな実施方法についても、引き続き検討していきます。

本町は「若い、元気な高齢者が多い町」ではありますが、高齢化の進展を背景に、核家族化や高齢者世帯の孤立化、認知症高齢者の増加などに伴う、介護する家族などの負担や課題も年々増加傾向であることを認識し、その準備を始める必要があります。

このような超高齢社会の到来を見据え、社会福祉協議会には、三つの圏域に分けた地域包括支援センターの中核的な立場になつて、中部地域包括支援センターを運営していただきおり、本町の福祉施策に欠かせないものになつています。町におきましても、高齢者の皆さまが可能な限り住み慣れた地域で安心して、自分らしく暮らせるような地域福祉施策に取り組んでいきたいと考えております。

結びに、本年が皆さま方にとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げまして新年の「あいさつ」をさせていただきます。

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール 入賞者紹介

第74回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールに町内の小中学校から、書道の部に1,437点、ポスターの部に1,197点の応募がありました。その中から、26点の作品が優秀作品に選ばれました。
(敬称略)

愛知県社会福祉協議会長賞		愛知県共同募金会佳作					
	幸田中1年 高垣 澄	あたけ 三年 足立乃亜	幸田小3年 足立乃亜	は赤ねい 四年 鈴木七海	中央小4年 鈴木七海	や思りい 五年 高橋大智	中央小5年 高橋 大智
	坂崎小6年 岡野 真生	募金共 同 六年 岡野 真生	志賀 優愛	募金共 同 二年 小野良 有芽	南部中2年 小野良 有芽	地域福 活動 三年 齋藤 里央菜	幸田中3年 齋藤 里央菜
	幸田小5年 本多 由依		豊坂小6年 北澤 あまね		南部中1年 服部 彩花		幸田中2年 山本 蒼結
	南部中2年 夏目 采						
幸田町共同募金委員会長賞		幸田町共同募金委員会特別賞					
	四年 深溝小4年 神谷 麻妃	は赤ねい 三年 東條 紋士	坂崎小3年 東條 紋士	羽赤根い 五年 安部 圭矢	豊坂小5年 安部 圭矢	募金共 同 六年 山崎 結衣	荻谷小6年 山崎 結衣
	中央小6年 志賀 優愛		荻谷小1年 鈴木 里依		荻谷小2年 西田 明莉		深溝小3年 小林 みいろ
	北部中2年 愛甲 真夕		坂崎小4年 清水 陽由		北部中1年 東園 斗我		幸田小6年 天野 玲音

中部地域包括支援センターだより

「げんきかい」で活躍中 いきいき元気サポーターの活動を紹介します

「いきいき元気サポーター」「げんきかい」ってなに?

いきいき元気サポーターは、げんきかいの運営をしているボランティアです。

げんきかいは、簡単な体操や認知症予防のための脳の体操などを通して、健康づくり、介護予防をしています。小学校区ごとに、町内6カ所で開催しています。

活動① 体操

サポーターは前に出て、参加者をリードしながら高原列車、きよしのズンドコ節などの曲に合わせて楽しく体操します。



鳴子を使った体操も行っています!

楽しく体を動かして、
健康維持を目指しましょう!

活動② 脳トレ・レクリエーション

脳を活性化させて、認知症の予防を行います。

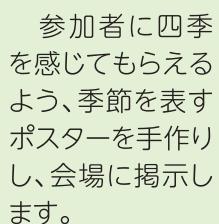
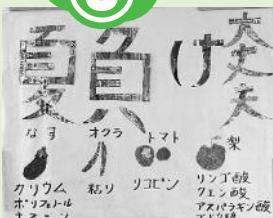


自分の特技を生かして大活躍!



手作りの小道具で盛り上げます!

活動③ ポスター作り



参加者に四季を感じてもらえるよう、季節を表すポスターを作りし、会場に掲示します。



幸田町中部地域包括支援センターでは、げんきかいで活躍するいきいき元気サポーターを随時募集しています。また、げんきかいの参加者も募集中です。お問い合わせは下記まで♪

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください。

幸田町中部地域包括支援センター 電話 62-7331 FAX 62-7254

ふくしの広場

・収集ボランティア“はあとふる”から車いすの寄付をいただきました・

収集ボランティア“はあとふる”は、町民の皆さまから寄せられた使用済み切手や書き損じはがきなどの収集、整理を行うボランティアグループです。この度、収集活動の収益金で車いすを3台購入し、社会福祉協議会へ寄付していただきました。

ご寄付いただいた車いすは、社会福祉協議会にて貸出を行っておりますので、ぜひご利用ください。

いつも収集活動へのご協力ありがとうございます。
収集箱は憩の農園、郵便局(幸田、深溝)、町民会館、役場および社会福祉協議会に設置していますので、今後とも収集活動にご協力をお願いします。

メンバー大募集!!!

“はあとふる”ではともに活動するメンバーを募集しています。ボランティアをしてみたい、興味のある人はお気軽にお問い合わせください。

●団体の概要

設立 平成8年11月 会員数 7人
活動日時 毎月第1木曜日 午後1時30分～4時
活動場所 社会福祉協議会 ボランティアルーム
問合せ 幸田町社会福祉協議会 62-7171



▲収集ボランティア“はあとふる”の皆さんと寄付していただいた車いす

・令和4年度幸田町社会福祉大会顕彰者等の紹介・

令和4年度幸田町社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と来場者および関係者の健康面、安全面を最優先し、中止となりました。

以下のとおり令和4年度の顕彰者および祝品対象者のご紹介をいたします。

顕

幸田町社会貢献活動感謝状

◇社会貢献活動功労者

浅井 忠
小栗 千典
久保田 正月
中根 時夫
志賀 孝吉
尾浜川をきれいにする会



彰

幸田町社会福祉協議会会長感謝状

◇福祉団体功労者

幸田町老人クラブ連合会	國枝 美智子
幸田町老人クラブ連合会	志賀 正則
幸田町老人クラブ連合会	村越 みさと
幸田町老人クラブ連合会	山本 勝利
幸田町老人クラブ連合会	山本 たき
幸田町身体障害者福祉協会	山谷 弘子
幸田町身体障害者福祉協会	鶴田 よしの
幸田町遺族会	乙部 正好

◇社会福祉事業多年勤続者

保護司 谷川 久夫

◇社会福祉事業協力者

株式会社タケヒロ産業
幸田町グラウンド・ゴルフ協会

祝品贈呈

長寿祝 白寿(99歳) 14人
米寿(88歳) 151人

結婚祝 ダイヤモンド婚(結婚60周年) 16組
金婚(結婚50周年) 71組

令和4年度 幸田町社会福祉協議会会員入会報告

ご加入ありがとうございました

本年度も幸田町社会福祉協議会会員への入会をお願いしましたところ、多くの皆さまからご協力いただきました。ご入会された皆さま、また、会費の取りまとめにご協力くださいました区長さんに心からお礼申し上げます。

皆さまからいただきました会費は、主に福祉への理解を深めていただくための啓発活動や福祉団体およびボランティアの活動支援など、地域福祉活動の推進に使わせていただいております。

令和4年度の加入状況 (令和4年12月6日現在)

会員の種類	会員数	一口	金額
一般会員 町民の皆さま	9,215世帯	300円	2,764,500円
賛助会員 個人・団体など	98名	1,000円	241,000円
特別会員 法人・事業所など	105事業所	3,000円	464,000円
合 計			3,469,500円

◆賛助会員

幸田町議会議員 16人

幸田町管理職会 65人

(個人のお名前については、省略させていただきます)

幸田町社協役員・評議員 17人

◆特別会員ご芳名

- (順不同・敬称略)
- | | | |
|---------------------|------------------------|------------------------|
| ● 鈴木内科 | ● まどかの郷デイサービスセンター | ● (株)デンソー幸田製作所 |
| ● 鈴木眼科医院 | ● デイルーム幸田 | ● 三菱ケミカル・クリンスイ(株)幸田製造部 |
| ● 幸田中央クリニック | ● 鈴木接骨院のデイサービス幸田 | ● 矢作産業(株) |
| ● 三河クリニック | ● 特別養護老人ホームつじヶ丘 | ● 日軽エムシーアルミ(株) |
| ● むらかみ整形外科 | ● 子ども発達支援センター桃っこ | ● パナソニック住宅設備(株)幸田工場 |
| ● 西山みみ・はな・のどクリニック | ● ケアプランひなた幸田 | ● 村越建設(株) |
| ● 野々村クリニック | ● グループホームふわふわ幸田 | ● (株)伊藤建設 |
| ● (医)やまざきクリニック | ● わくわくさ | ● 三河舗装建設(株) |
| ● 京ヶ峰岡田病院 | ● 放課後等デイサービスギフト幸田 | ● 小池管工(有) |
| ● とみた小児科 | ● 放課後デイサービス事業所ひまわりの種 | ● 豊坂建材(株) |
| ● こうた皮フ科クリニック | ● あい | ● (株)山本組 |
| ● こん野ファミリークリニック | ● グループホームKukka | ● (株)加藤工業 |
| ● 牧原整形外科クリニック | ● あいち三河農協幸田支店 | ● (株)本多工務店 |
| ● こうた内科クリニック | ● 豊川信用金庫幸田支店 | ● (株)ニシオ |
| ● 日高医院 | ● 西尾信用金庫幸田支店 | ● (株)石原組 |
| ● 三ヶ根クリニック | ● 碧海信用金庫幸田支店 | ● 丸七建設興業(株) |
| ● 植田歯科医院 | ● (有)ホンダ自動車 | ● 竹内建設(株) |
| ● やまもと歯科医院 | ● (有)愛幸自動車 | ● 吉良建設(株)幸田支店 |
| ● ハピネス歯科こども歯科クリニック | ● (有)小野自動車 | ● 幸田塗装(株) |
| ● あいみ歯科 | ● 杉浦モータース | ● 小原建設(株)幸田営業所 |
| ● さかきばら歯科 | ● (有)イケダオート | ● 三河観光(株) |
| ● いちかわ歯科 | ● 三ヶ根自動車工業 | ● (株)三ヶ根観光社本社営業所 |
| ● (株)くりの木 | ● 愛知自動車(株) | ● (株)幸田グリーンゴルフクラブ |
| ● (医)翔友会おり姫 | ● (株)富田モータース | ● 葵カントリークラブ |
| ● こうたCS訪問介護事業所 | ● 伊与田モータース | ● (株)エンヤ |
| ● (有)たいよう | ● (株)カンドリ工業 | ● (有)本田屋商店 |
| ● デイサービスいな穂 | ● (株)タナカ | ● 太田新聞店 |
| ● レッツ俱楽部幸田 | ● アスカ(株)幸田工場 | ● 幸文堂ドリームウェイ(株) |
| ● すみれ介護合同会社 | ● セントラルコンベヤー(株) | ● 大嶽屋 |
| ● デイサービス和ごころ菱池 | ● トヨコンロジスティクス(株) | ● (有)レミックス |
| ● 訪問介護ステーションよいかん幸田 | ● (株)ササノ合成 | ● 花笠商事(株) |
| ● デイサービスむすび | ● (株)コーテック | ● (株)N&K幸田セントラルボウル |
| ● ケアホーム穂の香 | ● ソニークローバルマニュファクチャリング& | ● (株)ジェイテクトグランディングシステム |
| ● 特別養護老人ホームメリーホーム幸田 | ● オペレーションズ(株)幸田サイト | ● 蜜釀造(株) |
| ● 特別養護老人ホームまどかの郷 | ● (株)佐藤渡辺幸田合材工場 | ● (有)白光舎 |

トピックス

～法務局から講師を派遣します～

遺言書を書いたけれど、見つけてもらえるか心配だ

自筆証書遺言書保管制度ってどんな制度なの？ 遺言書の保管申請はどうすればいいの？

令和2年から、法務局で自筆証書遺言書の保管ができるようになりました。法務局で自筆証書遺言書の保管することにより、自筆証書遺言書のメリットはそのままに、さらに安全・安心がプラスされる制度になっています。

そこで、友人同士が集まる機会や町内会の会合などに合わせ、法務局から講師を派遣し、自筆証書遺言書保管制度について分かりやすく説明します。お気軽にお申し込みください。

と き 平日の午前10時から午後3時までを開始時刻とします。

*時間は1回50分程度です(調整可)。

*申込者と講師で日時、場所の調整を行い、当日講師を派遣します。

内 容 自筆証書遺言書保管制度の良いところ、申請手続きについて など

対 象 町内在住者

*3人以上の団体やグループでお申し込みください。

講 師 法務局職員

参 加 費 無料

申込み 講座開催希望日の10日前までに、名古屋法務局岡崎支局総務課(電話52-6415)へ
お申し込みください。



遺言書
ほかんガルー

幸田町社会福祉協議会 嘴託員の募集

	居宅介護支援事業所	相談支援事業所
受験資格	69歳までの人のうち、 介護支援専門員 の資格を有している人	69歳までの人のうち、 相談支援専門員・保健師・社会福祉士・精神保健福祉士 の資格を有している人
採用予定人員	1人	1人
勤務内容	ケアプラン作成業務	サービス等利用計画および障害児支援利用計画作成業務
勤務場所	幸田町福祉サービスセンター	
勤務期間	月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時15分(内休憩時間60分)までの範囲内で勤務する。 原則1日当たり7時間45分で、1週間当たり38時間45分とする。 *勤務日および勤務時間については応相談	
賃 金	月額220,000円～ *社会福祉法人幸田町社会福祉協議会嘱託員・非常勤職員の報酬・賃金基準による。	
提出書類	履歴書(3カ月以内に撮影した写真を貼付、市販のもので可)、資格証明書の写し	
応募方法	隨時、幸田町社会福祉協議会へ必要書類を提出してください。 幸田町社会福祉協議会(幸田町福祉サービスセンター内) 〒444-0113 幸田町大字菱池字錦田82番地4 *窓口での受付時間は、午前8時30分～午後5時15分(土日祝日は除く)	
そのほか	(1) 採用は、書類審査および面接により決定します。 (2) 提出書類(履歴書など)は、理由を問わず返却しません。	
問 合 せ	幸田町社会福祉協議会 電話(0564)62-7171	

災害ボランティア講座を開催します!

一災害時の地域助け合い活動一

災害ボランティア活動を知ってみよう

いつ起るか分からない大規模災害に備え、ボランティア活動の基本から災害時の動きまで学べる講座を開催します。新年を迎えたこの機会に、ボランティア活動を始めるきっかけとしてぜひご参加ください。

とき 2月18日（土） 午後1時～4時

ところ 幸田町民会館 大会議室

内 容

- ボランティア活動の基本
- 災害および被災の現状理解
- 災害ボランティア活動および災害ボランティアセンターとは
- 災害ボランティアコーディネーターとは
- 自助・公助・共助の大切さ



対 象

町内在住・在勤・在学で、ボランティア活動に興味のある人

定 員

30人

講 師

愛知県社会福祉協議会 ボランティアセンター運営委員長

鈴木 盈宏 氏



受講料

無料

申込み

2月10日(金)までに幸田町社会福祉協議会へ
電話(62-7171)または2次元コードで
お申し込みください。

▲2次元コードからの
お申し込みはこちら

ご寄付紹介（順不同・敬称略）

R4.9.15～R4.12.13

●現金 幸田町グラウンド・ゴルフ協会 132,940円

(株)石原組従業員一同 6,000円

合同会社Fitnessこうた社員一同 4,500円

●物品 収集ボランティア^はあとふる、車いす3台

稻吉 麻理 車いす1台 ありがとうございました

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒446-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4

電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254

居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069

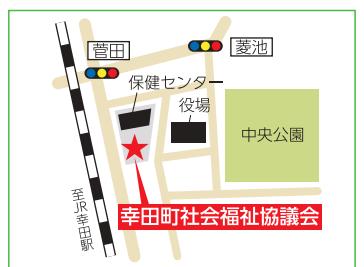
訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273

中部地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331

メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報紙は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。